



TCA ニュース

= 1999年 10月発行 = 【No. 134】

発行 東京サイクリング協会 広報委員会

〒104-0061東京都中央区銀座7-15-11 ・FAX 03-3541-6540

サイクリストの五楽 ①輪楽・自転車を楽しみ ②行楽・旅を楽しむ ③道楽・道を楽しむ ④友楽・友と楽しみ ⑤遊楽・遊びを楽しむ

EVENT

『視覚障害者とタンデムを楽しむ集い』

10月24日(日) パレスサイクリング

今年の夏は9月下旬まで暑い日が続きましたが、さすがに10月は涼しくなり、サイクリングにはベストシーズンです。会員の皆さんも色々と計画を立てている事と思います。

9月に続いて、第26回『視覚障害者とタンデムを楽しむ集い』をパレスサイクリングで行います。今回は季節も良く、コースが長いので、多くの方のご協力をお願いします。ボランティアとして参加協力して頂ける方は、事務局中村まで出来るだけ早めにご連絡下さい。ご協力頂いた方には昼食を用意します。当日は、午前9時までにパレスサイクリング受付前に集合して下さい。10時よりスタートし、12時までサイクリングを楽しみます。

なお、雨天の場合は中止となりますので、当日不明な時は下記にお問合せ下さい。

(TEL : 03 - 3211 - 5020 又は 携帯 : 070 - 5025 - 6867)

事務局からのお知らせ

1999年を送る『TCA サイクリストの夕べ』の日が決まりました！

恒例の『TCAサイクリストの夕べ』を、年度計画の通り12月10日(金)に開催します。会場は、今年も霞ヶ関三井クラブの予定です。少し早いですが、今から予定に入れておいて、是非参加して下さい。詳しくは、11月号のニュースでお知らせします。

秋のTCAラリー

今年も恒例の一泊ラリーを11月20日(土)宿泊の予定で実施したいと思います。詳細については11月号のニュースで案内します。なお、これまで利用していた宿(檜原村 橋本旅館)以外に心当たりのある方は、事務局までご連絡下さい。

オフロード走行のお誘い

都心では楽しめないオフロード(ダート)を走って見ませんか。下記の予定で有志を募って出かけようと思います。希望者は、磯部(TEL 03-3987-2045)まで問合せ下さい。

時：11月6日(土) 宿に集合し、翌日走行して解散

所：福士溪谷

道：剣抜大洞林道 約30km(ダート約15km) 標高差 約850m

宿：寿楽荘 一泊6,000円 TEL 05566-4-3435 内船2434 身延線内船駅下車

【9月末現在 会員数 263名】

東京いいとこ自転車散歩

REPORT

《東京再発見》

隅田川橋めぐり

海の記念日の7月20日、早朝からTCA事務所前に続々とサイクリストが集まる。参加者名簿に名前を書き込む。毎回人気があるが、今回は特に多い。本日のコース地図と隅田川に架かる橋の解説書をいただく。自己紹介の後コースの説明があり出発、朝のうち地面が軽く濡れるぐらいの雨が降ったが、雨具はほとんど必要なく、走り始める頃には止んだ。

私は都合のつく限り参加しているが、常に新しい発見と喜びがある。今日は霊岸島水位測定所と南千住にあるリバーパーク汐入を知った。AからBへ向かう時、何も考えず一番近い道を選んでしまう私だが・・・ちょっと別な道を走ると、交通も楽で環境も良く、訪ねる名所があると言うことで、リーダーのご苦労に感謝している。

昼食は浅草を予定していたが、両国駅前で食事となる。いくつかのグループに分かれて周辺で昼食を取った。集合時間に誰も遅れる事なく直ちに出発、嬉しい。

隅田川は水もきれいで川沿いの道も整備され、都民の憩いの場所?と思ったが、サイクリングするには階段の下り、昇りに自転車を降りねばならず大変だ。その上、放尿の臭いは異常に近い。雰囲気を楽しむ一般歩行者にとってはホームレスもサイクリストも迷惑といわれるかもしれない。白髭橋を往復、大きい公園があり通りぬけ、今日走った橋の中で一番新しい水神大橋を渡る。

開発された綺麗な町を走り、最後の千住大橋の渡橋で左へ入る。芭蕉の「奥の細道」の碑の前で記念撮影、解散となる。

個々の橋の説明は省略・・・、参加者のみぞ知る。又良い企画を熱望します。

『奥の細道矢立て初の碑』
の前で記念撮影



《TCA会員:寺井國雄》

【参加者32名】

北川 常夫 高木 康雄 中田 修二 岡田 博正 會津 道夫 吉川 博頭 小笠原 淑夫
近藤 貞夫 森嶋 一男 加藤 元彦 日向 宏之 富田 浩義 近藤 隼人 飯田 喜久三
増田 治男 藤田 伸一 石川 紘一 小川 和也 和田 誠 田中 美千代 寺井國雄
寺井 晴子 岡島 正夫 河本 久 鈴木 智子 青野 順子 磯部 光博 桜井 勲
松山 盛雄 石原 政雄 江下 則次 中村洋一郎 (敬称略、参加名簿順)

関東甲信越ブロックサイクリングラリー 長野県大会に参加して

T C A 会員：富田 浩義

私がブロックラリーに初めて参加したのは、一昨年の神奈川県大会でした。各県から大勢のサイクリストが集まり設定された幾つかのコースの中から各自が選んだコースへ思い思いにスタートして行く、途中見知らぬ他県のサイクリストと語り合い追い越し追い越されしつつ完走。夜、参加者全員が一堂に会し大会が開かれ多数回参加の方々は旧交を温め、私のような新参の者も加えていただきいろいろなエピソードなど語り合い楽しい一時を過ごした。この魅力に引かれ、以後、昨年の大子、今年の白馬と連続参加となった。7月、参加申し込みをしてから同行してもらえ方を探したが見つからず単独走を覚悟、信濃大町から白馬まで走る「Aコース」に決め、準備に入る。

9月11日、AM8:00 発の特急スーパーあずさ3号に乗り込む。輪行車1台在り、ブロックラリー参加者有りと思い2~3の人に聞くもわからず、自分の席に座る。暫くして、隣席の女性から話し掛けられ雑談しているうち「80歳になる友人は二日前に出発し糸魚川へ1泊そこから梅池へ、そこで1泊、今日白馬で合流すると云う大変元気な人もいます」と話していたら、前の座席の方が振り向かれ「もしかしてそれは近藤貞夫さんのことですか、私は江戸川区の佐藤です」「それではあの輪行車はあなたのものでしたか」とまずはほっとする。隣席の女性が穂高で降りその席へ佐藤氏が座り信濃大町までコースについてなど雑談しながら過ごす。後の車両に寺井氏が乗っていることも判り大町からは少なくとも3人で走るようになった。AM11:15 信濃大町に到着、駅前広場隣の公園で早速自転車の組立てに取り掛かる。T C A 副会長の加藤先生合流(同じ列車で到着とのこと)、正午ごろ4人で出発、2~3kmぐらい走ったところで“そば処清流庵”と云う蕎麦屋に入る。空席無く暫く待つ、その間加藤先生の指導で軽くストレッチを行う。席に付いてから北川さんに電話連絡をとる、現在地と同行メンバーを確認、大町の約10km手前辺りでメンバーは“中村さん、森嶋さん、藤田さんと一緒に森嶋さんが足を少し痛めているのでペースダウンしている”とのこと。我々は信州蕎麦に舌鼓を打ち、午後1時過ぎ出発Aコースのゴール白馬をめざす。健脚の加藤先生は先行、寺井さん、佐藤さん、私の三人はマイペースで走る。木崎湖の西側の湖畔道を走り途中小休止を取り景色を眺めたり、写真を撮ったりして再び走りだす。中綱湖・青木湖を過ぎたところから少し登りになり、佐野坂トンネルを抜けるとすぐ下り坂となり眼下に白馬村を眺めつつダウンヒルを楽しむ。その頃からポツリポツリと雨が降り始めた。坂をほぼ下りきったところでコース案内板に従い右折、国道から間道へ入りBコースとの合流地点に、この頃には雨量も多くなり本降りになるけはい、自転車専用道のコースへ急ぐ。15~20分走った頃国道へでるための案内板を見落とし行過ぎる、戻って案内板を確認国道へ出る、まもなく雨も上がりポンチョを脱ぎ急ぎゴールを目指して走る。サマージャンプの行われているジャンプ競技場の下を通過、ゴールの八方文化会館に到着。午後3時5分受付完了、ビールで歓迎をうける。4時少し前、北川さん、藤田さんと続いてゴール。開会式開始直前に中村さん、森嶋さん到着、T C A メンバー全員揃う。多数回参加者表彰などの後、歓迎アトラクションとして“八方太鼓”と地元児童による“輪になっておどろう”が披露された。開会式終了後、各協会毎の指定宿舎へ移動、夕食懇親会のあと二次会へ、1年ぶりの再開に大いに盛り上がった。11時過ぎ三々五々自室へ戻り就寝。

翌9月12日朝、旅館前にて全員で記念写真を撮り八方文化会館へ、9時からの閉会式に臨む。10時解散、各自それぞれの目的のコースに向かって出発して行った。私は、北川、森嶋、寺井の三氏と“マイルドセブン サイクリングラリー '99 白馬岩岳コース”に挑む。最終チェックポイントを終了した後、八方文化会館近くでみんなとわかる。一日目は景色を楽しみながらのサイクリング、二日目はマウンテンバイク用コースを含むラリーに挑むなど大変楽しい二日間を過ごせた。

来年の新潟・湯沢大会にも是非共参加したいといまから楽しみにしている。

ポケナビ(ハンディGPS)試用記

<T C A 会員：北川 常夫>

パレスが終わってから秋葉原の柳森稲荷の富士塚を調べに行った。その後、電気街を覗いていたら、ガード下の店でポケナビ(ハンディGPS)を見つけたので思わず飛びついた。しかし、決して衝動買いではなく以前からカタログ請求などして検討をしていたのです。

早速、帰り道で使ってみたら大手町付近では受信状態が悪い。以前、古い機種を借りた時も日本橋近辺で同じ状態だった。パレスまで戻って現在地(N35° 40' 33", E139° 45' 48")をマークする。家の前でもやはりダメだ。屋上へ持って上がって確認する。

次は、かねてから考えていた富士塚巡りに利用することにした。T C A ニュースに示しておいた緯度・経度を入力して練馬・板橋地区へ行ってみることにした。こっちは、あまり土地勘がないのでテストするには最適だと思う。

まずは、途中にある千駄ヶ谷の鳩森八幡を目標にしてみる。走り出してから電源を入れたらなかなか衛星を捕捉しない。走りながらではまずいのかな。構わず進んで行って青山墓地まで来たら捕捉した。方向と距離はバッチリである。神宮外苑のセンターに寄って武田さんと話をして、再スタートしてから外苑センターの場所をマークするのを忘れた事に気がついた。仕方がない、後で地図で調べることにする。いよいよ近くなってきたら突然表示が変わった。読んでみたら「ハトリマノに接近中です。」さらに進むと、あと0.25kmとなった。つまり300m以内で表示されるらしい。現地に着いてから表示を見たら「付近に到着しました。」だった。

次は、西向天神を目指す。既に場所は知っているけれどあえて表示に任せて走ることにする。突然「接近しました」と表示されてびっくりする。あらためて周囲を見まわしてみたら、なるほど接近していた。その次は鬼王神社へ向かう。歌舞伎町の辺りは、やはり電波が弱い。いよいよ調子に乗って江古田富士へ向かう。何にも考えずに矢印が示す方向を頼りにひたすら走る。どこをどう走っているのか皆目わからない。突然、踏切が現れても何の線路でどこの駅があるのか想像できない。夜中の自動車ラリーをやっていた時と同じ状態だ。帰ってから地図の上で今日のルートをトレースできるのだろうか。

江古田駅の傍まで来たので、茅原浅間神社は駅のすぐ北にあったのを昨日、地図で確認していたためすぐに見つけることができた。

次の目標は、北町八丁目の氷川神社。距離は、3.8km である。どんどん走っていったら突然目の前に塀があるT字路に出た。陸上自衛隊だ。左回りに迂回することにしたが、確か林君の店が自衛隊の南側つまりこの道路にあったはずだと思って進むと案の定、2ブロック先にあった。店の前で林君が仕事をしていた。事情を説明してしばらく話をしていたら客が来たので失礼する。自衛隊の先を右折しようとして交差点を渡って向きを変えたら矢印が今来た方向を指している??そんなわけないので無視して右折する。走り出したら正しい方向を指した。帰宅してから取扱説明書を確認したら「コンパスと方位リングは、速度が遅いときや停止しているときには正しい方向を表示できません。」と書かれていた。ただし、誤差の面から考えても、距離が遠いほど方向の精度は良く、目的地に近いほど角度が開く理屈なので接近したらブレるのは当然のことと思う。

ところで、精度について検討してみると1万分の1の地図で測ったら東西の2分が3kmだから25m/秒で、南北は、1' 30"が2.8kmで約30m/秒となる。従って、秒までで25~30mのデータを扱うことになる。ところがGPSは、もともと米国の軍事衛星を利用しているので精度を劣化して公開されているため、50~100mの誤差が生じるようにされている。今回使ってみたところでは、ともかく近くまで行ってから100mの範囲を捜すといった利用が十分に可能である。

今後、さらに使い込んで、より効果的な利用法を見つけて発表し普及を図りたいと考える。